平成25年度地域医療支援病院業務報告（任意的に求められる取り組み）

医療圏	地域医療支援病院名		病床数	①病院の機能に関する第三者評価	②果たしている役割に関する情報発信		④地域連携を促進するための取り組み		⑤その他
				評価を受けた機関名等	情報発信の方法・内容等の概要	ICT（情報通信技術）を用いた病診連携等	**地域医師会との連携のもとに策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容**	地域連携クリティカルパスを普及させるための取り組み	**地域の看護学校実習生に係る受け入れ状況**
福岡・糸島（9病院）	1	**独立行政法人国立病院機構九州医療センター**	一般650床 精神 50床 感染症2床	（公財）日本医療機能評価機構による認定（平成26年2月19、20日受審、平成26年5月2日認定）	ホームページ、診療年報、広報誌及び地域医療支援病院運営会議、地域連携セミナー、研修会等を開催し、診療内容・医療サービス、診療実績、診療機能分析レポート及び臨床評価指標（国立病院機構総合研究センター作成）を発信している。病院の理念、基本方針をはじめ自院の役割や診療機能等さまざまな内容をホームページにより作成し、定期的又は随時更新している。	現在検討中	福岡市医師会との連携のもとに、「大腿骨頚部骨折」、「脳卒中」、「心筋梗塞」、「慢性腎臓病（CKD）」を策定し、福岡県医師会の連携のもとに「胃がん」、「大腸がん」、「乳がん」、「肝がん」、「肺がん」、「前立腺がん」を策定し、本院は術後のフォローアップを担っている。	病院独自での地域連携パスの説明会の実施及び大腿骨頚部骨折・脳卒中の地域連携パス実績の連携先への報告会（年１回）	195名（実数） ・原看護専門学校 ・私設病院協会看護専門学校 ・福岡市医師会看護専門学校 ・福岡女学院看護大学
	2	**公立学校共済組合九州中央病院**	一般330床	（公財）日本医療機能評価機構による認定（区分3、Ver6．０	本病院ホームページにおいて、院外の関係者に向けて地域医療支援病院としての取り組み、利用方法等の情報を周知するほか、診療実績を公表している。また、広報誌において、登録医の紹介を行っている。	現在検討中	福岡市医師会との連携のもとに脳卒中地域連携パス及び大腿骨頚部骨折パスを策定し、福岡県医師会との連携のもとがん地域連携パスを策定。福岡市南区医師会と連携し、高血圧パスを策定した。	福岡市医師会地域連携パスワークショップや、がん診療連携協議会に参加し、パス分析のもと、医療の効率化、標準化を検討している。色湯機関に個別に説明し、登録の案内を行っている。	85名（実数） ・純心学園大学 ・福岡女学院看護大学
	3	**国家公務員共済組合連合会浜の町病院**	一般520床	（公財）日本医療機能評価機構による認定（区分3、Ver6．０）	当院ホームページにおいて、セミナー・研修会開催情報を発信。登録医のもとに勤務されている看護師さんに研修会の案内を発送。	放射線検査の予約を共有システムにより電子上で予約可能	福岡市医師会との連携のもと、脳卒中にパス及び大腿骨頚部骨折パスを策定。また、福岡県医師会との連携のもとに福岡県がん診療連携パスを運用している。	当院外来フロアに関連医療機関を掲示し、患者・家族への周知を図っている。	12名（実数） 日本赤十字附属国際看護大学
	4	**福岡県済生会福岡総合病院**	一般380床	ISO9001の認証取得	当院のホームページにおいて、院外の関係者に向けて研修の開催に関する情報を周知するほか、無料・低額診療、小呂島離島診療所健診を行っていることや、がん診療連携拠点病院であること、及び患者向け情報誌「ふくふくネット」を掲載している。	登録医に対しては、CT、MRI等の検査予約、いくつかの診療科の診療予約をホームページ上で行っている。	福岡市医師会との連携のもと、脳卒中にパス及び大腿骨頚部骨折パスを策定。また、福岡県医師会との連携のもとに福岡県がん診療連携パスを運用している。	脳卒中連携パス及び大腿骨頚部骨折パスについては、福岡市医師会が中心となって主催する年3回のワークショップに参加して、情報交換を行っている。 また、がん連携パスについては、九州がんセンターが中心になり連絡協議会の地域連携部会に県内の拠点病院が集まり普及させるための取り組みを協議している。	188名（実数） ・福岡市医師会看護専門学校 ・麻生看護大学校 ・高尾専門学校
	5	**福岡市民病院**	一般200床	（公財）日本医療機能評価機構による日本医療機能評価機構（ver.6.0）の認定	本病院のホームページにおいて地域の医療機関、医療従事者向けに患者紹介の方法、診断機器の紹介、院内研修会、勉強会の案内、開放型病床の案内、地域連携パスの案内などを周知している。	現在検討中	福岡市医師会及び関係医療機関とともに、脳血管地域連携パス及び大腿骨頚部骨折パス、がん地域連携パス、慢性腎臓病地域連携端を策定。	年１回連携先の回復期リハビリテーション病院との間で、医療連携パス連絡会を当院主催で開催し、当該クリティカルパスの概要を説明するとともに、症例検討を通してパスの評価と見直しを行うなど、関係医療機関に周知している。	・235名（実数） ・福岡市医師会看護専門学校 ・福岡女学院看護大学 ・純真学園大学 ・国際医療福祉大学 ・日本赤十字九州国際看護大学
	6	**福岡赤十字病院**	一般509床 感染症2床	なし	当院のホームページにおいて研修会の開催や病診連携について案内するとともに、それらの内容を掲載した広報誌を作成、近隣の病院へ送付し、周知している。	現在検討中	福岡市医師会との連携のもとに、「大腿骨頚部骨折」、「脳卒中」、「慢性腎臓病（CKD）」、「がん地域連携パス」を策定している。	当院において、積極的に活用することで、普及させている。	386名（実数） ・日本赤十字九州国際看護大学 ・佐賀大学大学院 ・久留米大学認定看護師教育センター
	7	**社会医療法人財団白十字会白十字病院**	一般411床 療養55床	（公財）日本医療機能評価機構による認定（区分3、Ver1.0）	毎月初めに登録医を中心とした医療機関へ外来予定表等を郵送している。病院広報誌「白十字病院だより」を年4回発行、「そったく会（医療機関向け研修会）会報」を年5回発行、年報誌を年1回発行し登録医を中心に福岡市内の医療機関へ郵送している。定期郵送物の他にも、外部へのお知らせがあれば随時郵送、渉外活動時に案内するなど情報発信を行っている。また、依頼があれば院外講演を行い、地域住民の方への医療に関する情報を発信している。	地域医療連携ネットワーク「クロスネット」を運営している。当院、登録医療機関及び患者それぞれで利用契約を結んだ上で情報公開しており、「患者基本情報」、「検査結果」、「カルテ記事・オーダー情報」、「画像情報」等を公開している。 また、クロスネットを利用している登録医療機関からCT、MRIの検査予約が可能である。	現在検討中	—	88名（実数） ・福岡市医師会看護専門学校 ・福岡国際医療福祉学院 ・精華女子高等学校 ・麻生看護大学校
	8	**糸島医師会病院**	一般150床	（公財）日本医療機能評価機構による認定（区分3、Ver6．０）	検査機関による地域の検体集配システム等を利用して、糸島市内の医療機関や行政機関（糸島市役所、糸島消防本部、糸島保健福祉事務所）へ向けて研修会の案内や診療に、検査等に関する情報を周知している。また、毎月「糸島医師会病院だより」を発行し、実施した研修会の詳細等、幅広く情報を市内の医療機関へ発信している。	現在検討中	福岡市医師会等で策定した「脳血管障害地域連携パス」、「がん地域連携クリティカルパス」をもとに、他の医療機関とも連携して、均てん化を図っている。	糸島市内の医療機関職員向けに連携パスの研修会を開催。その研修内容を病院だよりに掲載、配付している。	なし
	9	**福岡市立こども病院**	一般233床	（公財）日本医療機能評価機構による機能種別版評価項目3rdG：ver1．０取得	機関誌として、年報（年１回）、情報誌「みらい」（隔月発行）を医療機関や行政機関に配布している。また、情報誌は平成23年12月から地域の診療所に対して電子メールでの送信を行っている。また、昨年度においては病院のホームページをリニューアルし、受診案内や診療科だよりをはじめ、職員募集等のタイムリーな情報発信を行っている。	現在検討中	現在検討中	—	175名（実数） ・福岡県立大学 ・九州医療センター附属福岡看護助産学校 ・福岡市医師会看護専門学校 ・専門学校麻生看護大学校 ・自衛隊福岡病院看護学院

医療圏	地域医療支援病院名		病床数	①病院の機能に関する第三者評価	②果たしている役割に関する情報発信		④地域連携を促進するための取り組み		⑤その他
				評価を受けた機関名等	情報発信の方法・内容等の概要	ICT（情報通信技術）を用いた病診連携等	**地域医師会との連携のもとに策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容**	地域連携クリティカルパスを普及させるための取り組み	**地域の看護学校実習生に係る受け入れ状況**
北九州（10病院）	10	**小倉記念病院**	一般658床	なし	当院ホームページにて、各診療科の取り扱う主な疾患、特色、専門分野等の情報を院外に向けて掲載している。また、研修の開催に関する情報を登録医療機関に郵送やFAX等の方法で周知している。	現在検討中	北九州市医師会や関係大学病院協働のもと発足された北九州脳卒中・大腿骨近位部骨折地域連携パスと、北九州市医師会のもとに発足した北九州循環器疾患地域連携パスの運用において、地域における医療機関の包括的な疾患管理を目指している。	医師会を通じての運用説明会や協議会に参加することで、周知を図っている。	338名（実数） ・北九州小倉看護専門学校 ・日本赤十字九州国際看護大学 ・西南女学院大学 ・福岡県立大学
	11	**製鉄記念八幡病院**	一般453床	（公財）日本医療機能評価機構による認定（区分3、Ver6．0）	病院のホームページにて院外医療従事者向けの研修会や地域住民に対する健康講座の開催に関する情報のほか、救急医療についての概要、登録医療機関情報等を掲載している。また、院外広報誌「こんにちはせいてつ病院です」は当院が目指す「救急医療の充実と地域のニーズに応える質の高い地域医療の実践」を基本に、医療情報サービスとして位置付け、年4回（4,500部／ 回）発行しています。	地域医療連携システム「SMILE」を開発し、登録医療機関と情報を共有することで、効率的で質の高い医療の提供に努めている。	北九州地区の急性期病院及び回復期・慢性期病院と連携し、特定の疾患（脳卒中、大腿骨近位骨折、急性心筋梗塞）について地域連携パス（北九州標準モデル）を運用している。	疾患毎の協議会に加わり、研修や意見交換会に参加することで、課題の解決や医療機関相互の連携協会に努めている。特に脳卒中地域連携パス協議会においては、病院長が就任しており、中心的な役割を担っている。	221名（実数） ・八幡医師会看護専門学校 ・西南女学院大学
	12	**戸畑共立病院**	一般218床	（公財）日本医療機能評価機構による認定（区分3、Ver6．0）	広報誌（年4回発行）やインターネットを使用して研修の開催や最新の医療機器を紹介している。	平成26年より地域の医療機関とインターネットを用いて情報交換を行い、地域における継続性の高い医療の提供を計画している。	北九州地域連携パス（脳卒中、頚部骨折）を使用し、計画病院として維持期、回復期病院と連携をとり、患者情報を共有し、医療の質の向上に努めている。がんの地域連携パス（胃・大腸・肺・乳がん・肺がん・前立腺がん）を使用して患者様が地域で安心して医療を受けることができるように地域の連携病院と、がん医療の均てん化に努めている。	年2回の北九州地域連携協議会に出席し、情報共有を行い、院内に協議会の内容を発信している。	113名（実数） ・折尾愛心高等学校 ・自由ヶ丘高等学校 ・美萩野女子高等学校 ・北九州戸畑看護専門学校
	13	**九州病院**	一般575床	（公財）日本医療機能評価機構Ver6　2009年認定、3rdG一般病院2 2014年受審	ホームページにおいて、院外の関係者へ研修開催に関する情報周知している。また、研修会ポスターをチラシとして登録医や地域住民、薬局に配布している。 広報誌「連携のかけはし」（月１回）、「メディカルナウ」を発行している。	放射線検査の予約を共有システムにより電子上で受け付ける他、患者の同意のもと、かかりつけ医がインターネット回線を利用して当院の電子カルテの一部が閲覧できる「きしのうらネット」を展開している。	北九州市医師会との連携のもと、①大腿骨近位部骨折、②脳卒中、③胃がん、④大腸がん、⑤肺がん、⑥乳がん、⑦肝がん、⑧前立腺がんの連携パスを策定。	いづれの地域連携パスも地域関係者の定例会議において、広報誌や研修会での説明を行っている。	1825名（実数） ・遠賀中央看護助産学校 ・西南女学院大学 ・八幡医師会看護専門学校
	14	**独立行政法人国立病院機構小倉医療センター**	一般350床 精神50床	なし	毎月、メール便にて500程度の医療機関へ、院外関係者向けの研修の案内や院内広報誌等のさまざまな情報を発送している。	現在検討中	現在検討中	—	7,101名（延べ） 西南女学院大学、専門学校北九州看護大学校、製鉄記念八幡看護専門学校、北九州戸畑看護専門学校、自由ヶ丘高等学校、北九州小倉看護専門学校
	15	**独立行政法人労働者健康福祉機構九州労災病院**	一般450床	日本医療機能評価機構　昨日種別評価版評価項目3rdG：Ver.1.0[一般病院2]（平成25年11月1日認定）	診療連携広報誌の発行（年4回、送付先約650医療機関） 患者向け広報誌の発行（年4回＋α（必要に応じ臨時発行）、1,500部／回） ホームページの随時更新 連携医療機関を対象とした医療連携懇談会の実施（年1回） 京都医師会との合同症例検討会の実施（年1回） 市民公開講座の開催	現在はまだ導入されていないが、近年導入する方向でシステム導入計画を策定中。	大腿骨近位部骨折地域連携パス、脳卒中地域連携パス	北九州市大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会（病院長が協議会の長に就任）への参画 北九州市脳卒中地域連携パス協議会への参画 医局会等での院内医師に向けた利用促進を依頼	214名（実数） おばせ看護学院、小倉南看護専門学校、製鉄記念八幡看護専門学校、日本赤十字九州国際看護大学、京都医師会看護高等専修学校、西南女学院大学
	16	**北九州市立医療センター**	一般620床 感染症16床	（公財）日本医療機能評価機構による日本医療機能評価機構（ver.6.0）の認定（平成24年3月2日）	ホームページ・Eメール・FAX・病院広報誌「輪」（年4回発行）により、登録医や地域の医療機関に向けて、医療連携や地域の医療従事者を対象にした研修等に関する情報を発信している。また、患者・市民を対象に広報誌「こんにちは！！医療センターです」（月1回発行）にて情報提供している。 看護・助産学生、薬剤師・臨床検査技師の学生の受け入れを積極的におこなっている。	地域医療連携ネットワーク「連携ネット北九州」を導入し、北九州市立医療センターで受診した際の放射線画像、放射線レポート、血液・生化学検査を地域の医療機関とインターネットで共有しており、地域医療の質の向上を図っている。平成26年度以降、第2ステップとして処方箋、病理・細胞診断レポート、内視鏡検査レポート、第3ステップとして手術記録、サマリーの公開を予定している。	福岡県がん地域連携パス 胃がん（22施設31件）　大腸がん（4施設4件）　乳がん（1施設1件） 脳卒中連携パス（2施設　31件）	退院時にクリティカルパスの利用を積極的に薦めているほか、計画的に地域の医療機関を訪問し協力を求めている。新規に運用するパスについては、関係診療科に説明会を開催している。	288件（実数） 小倉南看護専門学校、西南女学院大学、北九州小倉看護専門学校、北九州市立看護専門学校、門司区医師会看護高等専修学校、麻生看護大学校、久留米大学認定看護師教育課程がん化学療法看護、久留米大学認定看護師教育課程緩和ケア
	17	**独立行政法人労働者健康福祉機構九州労災病院門司メディカルセンター**	一般250床	（公財）日本医療機能評価機構による機能種別版評価項目3Ver1．0（平成26年3月7日）	ホームページに研修案内等を掲載している。また、院外の医療機関に向けて研修会の案内や広報誌等を地域連携室より送付し情報提供を行っている。	現在検討中	現在検討中	脳卒中の初期対応については、連携パスを他院と作成中であり今年度中に運用できるように検討している。	80名（実数） 門司区医師会看護高等専門学校 北九州市戸畑看護専門学校
	18	**遠賀中間医師会おんが病院**	一般100床	なし	ホームページにおいて、院外の関係者に向けて研修の開催に関する情報を周知し、看護学校実習生の受け入れを積極的に行っていること等を掲載している。	現在検討中	現在検討中	—	10名（実数） 遠賀中間医師会看護助産学校
	19	**健和会大手町病院**	一般527床	（公財）日本医療機能評価機構Ver6　2009年認定、3rdG一般病院2 2014年受審	ホームページ及び広報誌を用いて情報の発信を行っている。また健和会の医療活動をまとめた医報を年に1回発行し、登録医をはじめ地域の医療機関に配布している。	福岡県医師会診療情報ネットワーク（とびうめネット）参加	現在検討中	セミナー等での意見交換を行っている。	655名（延べ） 健和看護学院 戸畑看護専門学校 東亜看護学院

医療圏	地域医療支援病院名		病床数	①病院の機能に関する第三者評価	②果たしている役割に関する情報発信		④地域連携を促進するための取り組み		⑤その他
				評価を受けた機関名等	情報発信の方法・内容等の概要	ICT（情報通信技術）を用いた病診連携等	**地域医師会との連携のもとに策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容**	地域連携クリティカルパスを普及させるための取り組み	**地域の看護学校実習生に係る受け入れ状況**
久留米（4病院）	20	**聖マリア病院**	一般1,129床 療養100床 精神60床 感染症6床	日本医療機能評価機構による機能評価、ISO9001及びISO15189取得	広報誌「耳納の朝」の発行を毎月発行するほか、ホームページにおいて高度医療機器等に係る利用案内を掲載し、共同利用の促進を図っている。また、院外の関係者に向研修の開催に関する情報を周知している。	ID－Linkを用いてカルテ情報を他の病院やクリニックへネットワーク経由で聖マリア病院の医療情報を開示している。	久留米医師会との連携のもと、「久留米大腿骨近位部骨折連携パス」及び「筑後地域脳卒中連携の会地域医療連携パス」を策定。 また、久留米大学病院と当院においてがん連携パスを策定。	がん地域連携パスについては、聖マリア病院ホームページで情報公開し、関係医療機関へ周知している。	1149名（実数） ・聖マリア学院大学 ・久留米医師会看護専門学校 ・医療福祉専門学校緑生館 ・佐賀女子高校 ・長崎玉成高校 ・鳥栖三養基医師会看護高等専修学校 他
	21	**社会医療法人天神会新古賀病院**	一般202床	日本医療機能評価機構による機能種別版評価項目　3rdGver1．0取得	ホームページ及び広報誌にて、診療内容及び診療実績に関する情報発信を行っている。	くるめ診療情報ネットワーク協議会（アザレアネット）に参加し、ID－LINKを用いて診療情報の共有を病院・診療所と行っている。	筑後地区脳卒中連携の会に計画管理病院として参加。	筑後地区脳卒中連携の会では、連携パス運用に関する部会を行っており、看護師、リハビリ、栄養士、SWがそれぞれの部会に参加している。	1,532名（延べ） ・久留米医師会看護専門学校 ・高尾看護専門学校 ・杉森高校看護科
	22	**嶋田病院**	一般150床	日本医療機能評価機構　第1回更新受審	広報誌、ホームページ、フェイスブック、メールマガジン、院内・院外健康教室	くるめ診療情報ネットワーク協議会（アザレアネット）に参加し、ID－LINKを用いて診療情報の共有を病院・診療所と行っている。	循環型糖尿病地域連携パス、大腿骨頚部骨折・脳卒中回復期パス	地域連携講演会、薬薬連携会議、医科・歯科連携会議、コーディネートナースの運用等	2136名（延べ） ・純心学園大学保健医療学部看護学科 ・アカデミー看護専門学校 ・医療福祉専門学校緑生館総合看護学科
	23	**田主丸中央病院**	一般177床 療養73床 精神93床	日本医療機能評価機構による機能種別版評価項目　3rdGver1．0取得	ホームページにおいて当院の概要及び研修会の案内等を周知している。	現在検討中	現在検討中	—	53名（実数） ・医療福祉専門学校緑生館
筑紫（3病院）	24	**福岡大学筑紫病院**	一般308床 感染症2床	なし	本病院のホームページ、広報誌（ちくしニュース）、パンフレット、年報等を用いて、共同利用に関すること、看護学校実習生の受入状況、クリティカルパスに関する内容を周知している。	現在検討中	筑紫医師会及び関係医療機関とともに「脳血管障害地域連携パス」を策定し、年3回の連携医療機関同士の会合を開催し、勉強会や症例検討を行い連携を図っている。	3施設を基幹病院とし「大腿骨頚部骨折地域連携パス合同運用会議（ちくし骨骨ネット）」を年3回、連携医療機関と開催している。	292名（実数） ・福岡大学医学部看護学科 ・国際医療福祉大学 ・アカデミー看護専門学校 ・国際医療福祉学院 ・ちくし看護高等専修学校 ・あさくら看護学校
	25	**医療法人徳洲会福岡徳洲会病院**	一般600床	（公財）日本医療機能評価機構による機能種別版評価項目3rdG：ver1．0取得	ホームページや登録医療機関をはじめ近隣医療機関約730施設に毎月病院情報（研修・医療講演）を送付	循環器内科において地域の5施設と情報共有を行い、継続性の高い医療提供に努めている。	福岡市医師会との連携のもと、脳卒中にパス及び大腿骨頚部骨折パスを策定。	連携講演会、地域医療支援病院運営委員会等において周知	450名（実数） ・純心学園大学 ・高尾看護専門学校 ・九州看護福大学 ・福岡看護専門学校 ・自衛隊福岡病院准看護学院 ・筑紫看護高等専修学校
	26	**福岡県済生会二日市病院**	一般260床	（公財）日本医療機能評価機構による認定（区分3、Ver6．0）	広報誌の活用	本病院のホームページにおいて、MRI検査の空き状況を公開するほか,医師不在表、前述の広報誌を掲載することで病診連携を図っている。	筑紫医師会及び関係医療機関とともに「脳卒中地域連携パス」及び「大腿骨頚部地域連携パス」を策定。	3カ月に一度協力病院との勉強会を行っている。	・333名（実数） ・高尾看護専門学校 ・筑紫看護学校高等学校 ・麻生看護専門学校
粕屋（1病院）	27	**独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター**	一般541床 結核 38床	なし	院内情報誌「ちどり」を定期発刊するほか、古賀市の健康フェスタで在宅医療ネットワークや電子カルテの講演を行った。	放射線検査の予約を共有システムにより電子上で予約可能	福岡市医師会との連携のもとに脳卒中地域連携パス及び大腿骨頚部骨折パスを策定し、福岡県医師会との連携のもとがん地域連携パスを策定。	地域医療支援病院運営委員会、各種検討会において情報発信するとともに、関係医療機関と密に情報交換している。	332名（実数） ・福間看護高等専門学校 ・福岡女学院看護大学
宗像（1病院）	28	**宗像医師会病院**	一般164床	（公財）日本医療機能評価機構による認定（区分3、Ver1．0）	本病院のホームページにおいて、院外の関係者に向けて研修の開催に関する情報を周知するほか、看護学校実習生の受け入れ状況を記載している。また、登録医に対して共同利用に係る「ご利用ハンドブック」を毎年発刊している。	地域の診療所とムーミンネットを構築し、必要情報を共有することで、地域における継続性の高い医療の提供に努めている。	がん診療連携拠点病院等を中心に策定された地域連携診療計画に基づいたがん治療連携に参加し、宗像医師会との連携のもとに、腫瘍内科・緩和ケア病棟を設置し、がんに関して地域で完了する体制を構築している。	宗像医師会を通じて普及させている。	158名（実数） ・宗像看護専門学校 ・日本赤十字九州国際大学 ・純真学園大学
朝倉（1病院）	29	**朝倉医師会病院**	一般300床	（公財）日本医療機能評価機構による認定（区分3、Ver6．0） 日本生産本部JHQCクオリティクラスA認証	ホームページにおいて、院外に向けた各種勉強会、研修会、特定健診、人間ドック「地域講演会」等への講師派遣の案内を行っている。	HOPE地域連携システムの運用 セキュリティ対策を施した専用端末を用いて、紹介患者の診療情報を閲覧し、共同診療に役立ててている。	現在検討中	—	197名（実数） あさくら看護学校 昭和学園 緑生館 福岡看護専門学校
有明（1病院）	30	**大牟田市立病院**	一般350床	（公財）日本医療機能評価機構による機能種別版評価項目3rdG：ver1．0取得	本病院のホームページにおいて、開放病床や各種研修会の案内を掲載しているほか、文書による研修会の案内も随時行っている。また、院外向けや広報誌の発行や院内の電子掲示板による情報の発信、逆紹介推進を目的とした医療機関のパンフレットの設置も行い、情報発信に努めている。	地域医療連携システムを導入し、登録医療機関との情報共有に努めている。	大牟田市医師会及び関係医療機関とともに「がん地域連携クリティカルパス」を策定し、がん拠点病院である本病院を基幹病院として、がん拠点病院以外の医療機関とも連携し、がん医療の均てん化を図っている。	ホームページにおいて、本クリティカルパスの概要を説明するとともに関係医療機関に周知している。連携医療機関として届出がない医院からの紹介時には、訪問してパスの説明をし、連携を依頼している。	257名（実数） ・大牟田医師会看護専門学校 ・九州看護福祉大学 ・熊本看護専門学校 ・杉森高等学校
飯塚（1病院）	31	**飯塚病院**	一般978床 精神138床	ISO9001及びIS14001の取得	ホームページや広報誌を活用して、院外の関係者に向けて当院の診療実績や研修開催情報を周知している。また、研修開催案内は各医療機関に対して郵送してしている。	放射線検査の予約を共有システムにより電子上で予約可能	福岡県医師会及び関係医療機関とともに「がん地域連携クリティカルパス」を策い、がん拠点病院である本病院及び九州がんセンターを基幹病院として、がん拠点病院以外の医療機関とも連携し、がん医療の均てん化を図っている。	年3回、地域連携パス研究会を実施し、関係施設と連携を図っている。また、脳卒中の連携パスについては医療機関と電子メールで情報交換を行い、情報共有を図っている。	474名（実数） ・福岡県立大学 ・近大附属福岡高校 ・麻生看護大学校 ・飯塚医師会看護高等専修学校

医療圏	地域医療支援病院名		病床数	①病院の機能に関する第三者評価	②果たしている役割に関する情報発信		④地域連携を促進するための取り組み		⑤その他
				評価を受けた機関名等	情報発信の方法・内容等の概要	ICT（情報通信技術）を用いた病診連携等	**地域医師会との連携のもとに策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容**	地域連携クリティカルパスを普及させるための取り組み	**地域の看護学校実習生に係る受け入れ状況**
京築（1病院）	32	**新行橋病院**	一般246床	（公財）日本医療機能評価機構による機能種別版評価項目2ndG:Ver.5.0取得（平成21年9月27日）、3rdG:Ver.1.0審査終了済（平成26年8月）	ホームページにおいて、院外の関係者に向けて研修の開催に関する情報を周知している。広報誌（年4回）、連携室便り（年2回）を各病院等へ配布するなどし、必要情報を共有するよう努めている。	現在検討中	脳卒中地域連携パス	地域の病院やクリニックへ訪問し、連携への協力を促している。	174名（実数） 京都医師会看護学校、豊前築上医師会看護学校等